



平成26年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月7日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 フ ジ
 コード番号 8278 URL <http://www.the-fuji.com/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)尾崎 英雄
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役 企画・開発本部長 (氏名)佐伯 雅則 (TEL) (089) 922-8112
 四半期報告書提出予定日 平成25年10月11日 配当支払開始予定日 平成25年11月15日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第2四半期の連結業績 (平成25年3月1日～平成25年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第2四半期	155,724	△0.3	2,280	△6.2	2,679	1.8	1,175	13.8
25年2月期第2四半期	156,324	1.0	2,431	2.4	2,630	3.2	1,032	—

(注) 包括利益 26年2月期第2四半期 2,258百万円(203.3%) 25年2月期第2四半期 744百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第2四半期	33 31	—
25年2月期第2四半期	29 27	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年2月期第2四半期	152,346	58,937	38.6
25年2月期	151,052	56,944	37.6

(参考) 自己資本 26年2月期第2四半期 58,937百万円 25年2月期 56,944百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	7 50	—	7 50	15 00
26年2月期	—	7 50	—	—	—
26年2月期(予想)	—	—	—	7 50	15 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年2月期の連結業績予想 (平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	315,000	0.5	5,200	0.3	5,500	0.3	2,200	24.6	62 35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 ()、除外 一社 ()
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

26年2月期2Q	35,300,560株	25年2月期	35,300,560株
26年2月期2Q	19,861株	25年2月期	19,789株
26年2月期2Q	35,280,746株	25年2月期2Q	35,281,138株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による金融緩和をはじめとした各種政策により、輸出関連企業を中心に業績改善が見られるなど、景気回復の兆しが強まってきております。しかしながら、小売業界におきましては、一部の高額商品等の動きが活発になっているものの、ガソリンや電気料金の値上げ、消費増税への不安感などによる個人消費の伸び悩みに加え、業種を超えた競争がより一層激しくなっており、引き続き厳しい状況が続きました。

このような環境のなかで、当社グループ(当社及び連結子会社)は、経営ビジョン「中四国くらし密着ドミナント(※)」のもと、地域の豊かなくらしづくりと地域社会の発展に貢献できる企業集団を目指し、各社の有する経営資源を最大限に活用し、地域のお客様のくらしに密着した店舗及び事業の構築を推進しています。(※ドミナント・・・一定の地域において、占有率を高め同業他社と比較して優位性を確保する戦略)

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の営業収益は1,557億24百万円(前年同期比0.3%減)となりました。営業利益は22億80百万円(前年同期比6.2%減)、経常利益は26億79百万円(前年同期比1.8%増)、四半期純利益は11億75百万円(前年同期比13.8%増)となりました。

(連結業績)

(単位：百万円)

	平成25年2月期第2四半期		平成26年2月期第2四半期	
		前年同期比		前年同期比
営業収益	156,324	1.0%増	155,724	0.3%減
営業利益	2,431	2.4%増	2,280	6.2%減
経常利益	2,630	3.2%増	2,679	1.8%増
四半期純利益	1,032	—	1,175	13.8%増

セグメント別の状況は、次のとおりです。

【小売事業】

総合小売業では、平成25年度の経営方針を『「うれしい」をかたちに。』とし、「うれしい」があふれる明るく元気な店舗・売場づくりと経営基盤強化に向けたコスト構造の改革を推し進めています。

3月より電子マネー機能を搭載した新カード「エフカ」の発行を開始し、既存カードからの切り替えと新規発行により8月末時点で約125万人のお客様にご利用いただいています。特に電子マネーについては当初計画を大幅に上回る利用状況で推移し、お客様の新しい決済手段として定着しています。

店舗では、3月に「フジグラン石井」(徳島県名西郡石井町)、6月に「フジ西条玉津店」(愛媛県西条市)を改装するなど引き続き既存店の活性化と収益力向上に取り組むとともに、7月に株式会社ワールドフランチャイズシステムズとFC契約を締結し、10月より新たなファッション専門店事業として「SHO O・L A・RUE(シューラルー)」のFC展開を行います。

また、株式会社フジマートでは、広島地区でのシェア拡大に向けて、地域密着型店舗として6月に「ピュアークック五月が丘店」(広島市佐伯区)を出店いたしました。

さらに、お客様の多様化するライフスタイルに対応するため、ネットスーパー「おまかせくん」において、配達エリアを拡大するとともにサービスの拡充を図っています。また、農業分野については、前連結会計年度にスタートしたマルシェ事業の推進に加え、5月に農業生産法人「株式会社フジファーム」を設立し、地域と連携し生産から販売にわたるビジネスモデルの構築を進めています。

一方、スポーツ事業の更なる強化のため8月にセントラルスポーツ株式会社と業務提携契約を締結し、10月からの業務提携開始と平成26年3月のスポーツ事業の分社化にむけて準備を行っています。

これらの結果、小売事業の営業収益は1,556億63百万円(前年同期比0.5%減)となりました。

【小売周辺事業】

食品製造・加工販売業では、前連結会計年度に新設した惣菜工場の活用により、更なる店頭競争力の強化と収益力の向上に努めています。

飲食業では、「KFC(ケンタッキーフライドチキン)イオンモール高知店」(高知県高知市)と「KFCフジグラン野市店」(高知県香南市)の2店舗を新設いたしました。一方、経営効率を高めるために2店舗閉店いたしました。

また、3月より当社のクレジットカード事業を承継させ、株式会社フジ・カードサービスによる事業を開始いたしました。新カード「エフカ」の発行及び既存カードからの切り替えを当社とともに進め、カード関連事業での収益性の向上とカード情報を活用した営業支援の強化を図っています。

これらの結果、小売周辺事業の営業収益は、110億94百万円(前年同期比10.2%増)となりました。

【その他】

不動産賃貸業では、引き続き厳しい経営環境で推移いたしました。これらの結果、その他事業の営業収益は4億90百万円(前年同期比1.6%減)となりました。

(注) セグメント別の営業収益には、売上高及び営業収入を含め、セグメント間の取引も含まれていません。また、記載金額には消費税等を含めていません。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における資産の残高は、現金及び預金が11億54百万円、投資その他の資産が10億73百万円増加し、一方で、建物が9億18百万円減少したことなどにより1,523億46百万円となり、前連結会計年度末と比較し12億93百万円増加しました。

負債の残高は、支払手形及び買掛金が34億94百万円増加し、一方で、長期借入金が38億66百万円減少したことなどにより934億8百万円となり、前連結会計年度末と比較し6億99百万円減少しました。

純資産の残高は、589億37百万円となり、前連結会計年度末と比較し19億93百万円増加しました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における「営業活動によるキャッシュ・フロー」につきましては、税金等調整前四半期純利益19億86百万円に含まれる非資金損益項目の減価償却費25億76百万円、減損損失6億63百万円等の調整と、増加要因として、仕入債務の増加額34億94百万円等があり、101億21百万円の収入(前年同期は69億48百万円の収入)となりました。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」につきましては、有形及び無形固定資産の取得(設備関係支払手形決済等を含む)による支出が34億18百万円、その他の投資に係る収入が5億30百万円あったことなどにより28億55百万円の支出(前年同期は10億59百万円の支出)となりました。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」につきましては、長期借入金の返済による支出(純額)46億66百万円等があり、61億11百万円の支出(前年同期は33億1百万円の支出)となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第2四半期連結会計期間末残高は64億56百万円となり、期首から11億54百万円増加いたしました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第3四半期以降も、個人消費については引き続き厳しい経営環境で推移するものと予測されます。

このような状況のなか、第2四半期までで成果を出している重点施策をさらに推進し、「うれしい」があふれる明るく元気な店舗・売場づくりと経営基盤強化に向けたコスト構造の改革に取り組みます。

店舗では、11月に「フジ安城寺店」(愛媛県松山市)、2014年2月に「フジグラン北浜」(愛媛県八幡浜市)と「フジ三篠店」(広島市西区)の3店舗の新規出店を計画しています。また、「フジグラン三原」(広島県三原市)、「フジグラン東広島」(広島県東広島市)、「フジグラン尾道」(広島県尾道市)を改装するなど、引き続き既存店舗の活性化に取り組んでまいります。

以上により、通期の連結業績予想につきましては、平成25年4月15日に発表したとおり、営業収益3,150億円(対前期比0.5%増)、営業利益52億円(対前期比0.3%増)、経常利益55億円(対前期比0.3%増)、当期純利益22億円(対前期比24.6%増)を計画いたします。

(連結業績の見通し)

(単位：百万円)

	平成26年2月期	
		前年同期比
営業収益	315,000	0.5%増
営業利益	5,200	0.3%増
経常利益	5,500	0.3%増
当期純利益	2,200	24.6%増

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年3月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しています。

なお、これによる当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,301	6,456
売掛金	1,374	1,373
営業貸付金	2,215	1,879
商品	11,440	11,048
その他	2,139	2,119
貸倒引当金	△311	△272
流動資産合計	22,161	22,605
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	50,439	49,520
土地	30,922	31,209
その他（純額）	5,013	5,349
有形固定資産合計	86,374	86,078
無形固定資産		
投資その他の資産	5,928	6,000
差入保証金	12,918	12,894
建設協力金	8,062	7,532
その他	15,609	17,236
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	36,588	37,661
固定資産合計	128,891	129,740
資産合計	151,052	152,346

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,592	21,086
短期借入金	13,973	12,024
未払法人税等	816	959
賞与引当金	845	1,024
商品券回収損引当金	89	100
その他	8,613	9,710
流動負債合計	41,929	44,907
固定負債		
長期借入金	34,026	30,159
退職給付引当金	1,378	1,393
役員退職慰労引当金	274	256
利息返還損失引当金	971	852
長期預り保証金	12,268	12,014
資産除去債務	2,608	2,676
その他	650	1,147
固定負債合計	52,178	48,501
負債合計	94,108	93,408
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,921	15,921
資本剰余金	16,257	16,257
利益剰余金	23,817	24,728
自己株式	△35	△35
株主資本合計	55,960	56,871
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	983	2,071
繰延ヘッジ損益	—	△4
その他の包括利益累計額合計	983	2,066
純資産合計	56,944	58,937
負債純資産合計	151,052	152,346

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
売上高	147,778	147,062
売上原価	114,948	113,631
売上総利益	32,830	33,431
営業収入		
不動産賃貸収入	3,135	3,187
その他の営業収入	5,410	5,474
営業収入合計	8,545	8,661
営業総利益	41,376	42,093
販売費及び一般管理費	38,944	39,812
営業利益	2,431	2,280
営業外収益		
受取利息	117	106
受取配当金	105	109
持分法による投資利益	130	180
未請求ポイント券受入額	118	148
その他	239	304
営業外収益合計	712	849
営業外費用		
支払利息	453	376
商品券回収損引当金繰入額	28	38
その他	32	35
営業外費用合計	513	450
経常利益	2,630	2,679
特別利益		
投資有価証券売却益	—	23
持分変動利益	119	—
特別利益合計	119	23
特別損失		
固定資産除売却損	133	30
リース解約損	0	2
減損損失	850	663
投資有価証券評価損	7	—
店舗解約損失	25	16
建設協力金解約及び変更損	—	3
特別損失合計	1,016	716
税金等調整前四半期純利益	1,733	1,986
法人税等	700	811
少数株主損益調整前四半期純利益	1,032	1,175
四半期純利益	1,032	1,175

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,032	1,175
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△284	1,087
持分法適用会社に対する持分相当額	△3	△4
その他の包括利益合計	△288	1,082
四半期包括利益	744	2,258
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	744	2,258
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,733	1,986
減価償却費	2,487	2,576
減損損失	850	663
のれん償却額	—	12
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△34	△39
その他の引当金の増減額(△は減少)	△77	69
受取利息及び受取配当金	△223	△216
支払利息	453	376
持分法による投資損益(△は益)	△130	△180
持分変動損益(△は益)	△119	—
固定資産除売却損益(△は益)	133	30
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△23
店舗解約損失	25	16
売上債権の増減額(△は増加)	△144	1
たな卸資産の増減額(△は増加)	482	391
仕入債務の増減額(△は減少)	1,981	3,494
その他	1,049	1,868
小計	8,464	11,027
利息及び配当金の受取額	148	168
利息の支払額	△422	△307
店舗解約に伴う違約金の支払額	△25	△16
法人税等の支払額	△1,217	△750
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,948	10,121
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
投資有価証券の売却及び償還による収入	—	159
貸付けによる支出	△140	△6
貸付金の回収による収入	210	41
長期前払費用に係る支出	△23	△14
その他の投資に係る支出	△28	△147
その他の投資に係る収入	913	530
有形及び無形固定資産の取得による支出	△1,989	△3,418
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,059	△2,855
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	868	1,708
短期借入金の返済による支出	△1,202	△2,857
長期借入れによる収入	2,540	300
長期借入金の返済による支出	△5,352	△4,966
少数株主からの払込みによる収入	119	—
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△264	△264
その他	△9	△31
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,301	△6,111
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,587	1,154
現金及び現金同等物の期首残高	5,845	5,301
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,433	6,456

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。